

# ふんぽりし

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.29

2020年3月発行

## 姉妹都市の縁で 東二口文弥人形浄瑠璃演目を英語発信



▲東二口民俗資料館を見学し、尾口のでくの舞に感銘を受けたマーティン・ホルマン氏(前列中央)ら(令和元年6月)



▲3演目の英訳を手がけたマーティン・ホルマン氏市長表敬の際に持参した人形遣いを披露する同氏

姉妹都市の米国・コロンビア市にあるミズーリ州立大学元教授で人形浄瑠璃研究家のマーティン・ホルマン氏(現在、徳島市在住)により、尾口の東二口に伝わる文弥人形浄瑠璃(でくの舞)の3演目「酒呑童子・大江山」、「源氏烏帽子折」、「大職冠」初段の現代語訳絵本の英訳が2月に完成しました。

ホルマン氏とは、2013年10月、当協会主催の市民訪問団がコロンビア市を訪れた際に、ミズーリ大学で初めてお会いしたのがきっかけで、交流が続いていました。

その後、ホルマン氏が日本へ移住されたこともあり、また、昨年の市長を団長とする公式訪問団がコロンビア市を訪れたことが弾みとなり、同年6月、ホルマン氏が本市を訪れました。

見学した東二口民俗資料館で同人形浄瑠璃保存会の道下甚一会長らとの懇談を通して、でくの舞の現代語訳絵本の英訳につながったものです。

今後、市では、SNS や市ホームページを通して、英訳版を発信していくこととしています。

### C・O・N・T・E・N・T・S

■ 特集 東二口文弥人形英語発信	1 ~ 2
■ H.I.A. トピックス	3
■ 国際交流サロンのページ	4 ~ 5
■ H.I.A. だより	6 ~ 7
■ H.I.A. からのお知らせ	8

### ホルマン氏との出会いは、当協会主催の市民訪問がきっかけ

でくの舞の演目3作を英訳されたマーティン・ホルマン氏との出会いは、2013年10月、福田裕協会長の呼びかけにより公募した市民訪問団員がコロンビア市で出会ったことがきっかけです。当時のホルマン氏はミズーリ州立大学教授として教鞭をとる傍ら、文楽米人形劇団を主宰し、全米で文楽公演を行っていました。その後、神戸市へ移住されていた昨年、ちょうど日本を訪れていたコロンビア市の皆さんと本市を訪問され、今回の英訳が実現しました。現在ホルマン氏は、徳島市を拠点に人形浄瑠璃「徳米座」を立ち上げ、座長として活躍されています。

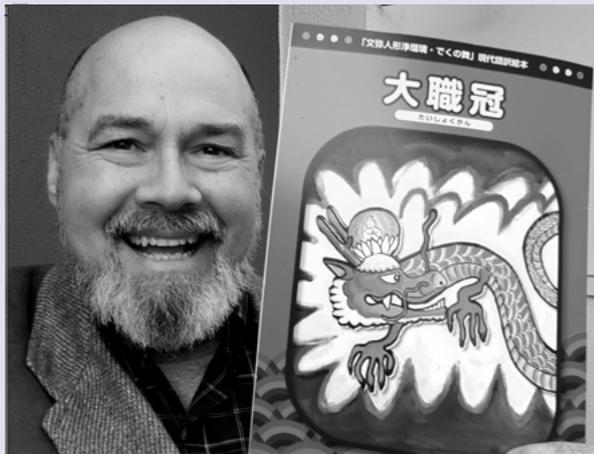


▲2013年10月、出会いのきっかけとなった市民訪問団の団長福田会長(右端)とホルマン氏(左端)。中央は当時のコロンビア市長(ミズーリ州立大学にて)

▼2019年6月、コロンビア市のジャパンリーチのメンバーと白山市を訪れたホルマン氏(右から2人目)



▲文楽研究仲間であるブラッド・クラーク氏(中央)とともに東二〇民俗資料館を見学したホルマン氏(右端)



### マーティン・ホルマン氏 (62歳)

現在、徳島市在住。人形浄瑠璃 徳米座 座長、関西学院大学講師(日本文学)。川端康成「伊豆の踊子」「古都」、井上靖「あすなる物語」、井伏鱒二等の著書の翻訳多数。元ミズーリ州立大学教授(2005～2017)

今回の翻訳について、ホルマン氏は、「楽しい作業であったが、平安時代、鎌倉時代の登場人物の役職や位の翻訳、登場人物が多く、その関係性などを読者にわかりやすく翻訳するのに苦労した。昨年訪れた白山市、特に東二〇民俗資料館は今でも心に残っている。英訳発信することで、姉妹都市白山市のお役に立てたらうれしい。」と語っています。



### ブラッド・クラークさん

世界の人形劇の研究者であり、ボーリング・グリーン州立大学教授(オハイオ州)。昨年6月、研究者仲間であるホルマン氏とともに来市された。

私が初めて旧尾口村ででくの舞を見たのは1982年でした。それから37年後に、再訪できるなんて夢にも思いませんでした。これも、ホルマン氏のおかげです。人形の振り付けを間近で見ることができ、とても洗練されたものだ改めて感動しました。文弥人形の演目の英訳は文献上、とても少なく、ホルマン氏の翻訳によって、私を含め、海外の人々がこれらの物語を美しい絵と一緒に楽しむことができるようになりますと聞き、とてもうれしく思います。白山市の自然の美しさや魅力的な独自の文化遺産について、更に理解を深めるため、もう一度、訪れる機会があることを願っています。



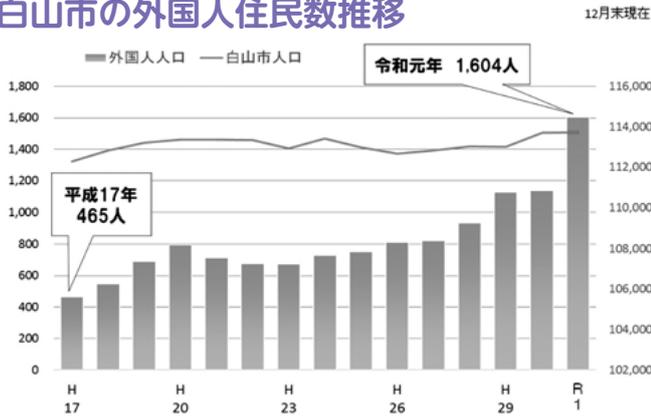
### 西田 良治さん

2000年の中学生ホームステイ交流団の団長として参加して以来、2度の市民訪問団に参加。両市の友好促進に協力されている。

中学生のホームステイ交流が休止となり、両市の交流が途絶えていた中、2013年、協会主催の市民訪問団に参加しました。その時に会ったホルマン先生が昨年の6月に来市した際に、東二〇民俗資料館をご案内させていただきました。私自身、今から13年前の旧尾口小中学校校長の時に総合学習で児童生徒に地域の伝統文化に親しんでもらおうと道下会長のもとに通っていたご縁があり、でくの舞には心惹かれるものがありました。英訳発信で海外の人にも理解いただき、是非、白山市に足を運んでもらいたいです。目で見て、耳で聞いて体験する“本物の舞台”に優るものはありません。

本市の外国人住民は、39の国と地域出身の1,625人（2020年1月末現在）で前年同比228人増の過去最多となっています。全人口に対する外国人住民は、1.42%（前年1.22%）と年々、その割合が増えています。また、ベトナムと中国の出身者を併せて1,126人と全体の約70%を占めます。本市の外国人は、技能実習生が66.2%（2018年12月末）と圧倒的に多いのが特徴である一方、近年は、国際結婚等で定住する外国人住民も増えており、子どもの日本語支援体制等が急務となっています。

## 白山市の外国人住民数推移



▶外国人住民数は、合併当初から3倍以上の増加

日本語部会長 田中 ひろみさん

## 「子ども日本語サポーターとして」

日本語指導が必要な児童・生徒が、白山市にも増えることを踏まえ勉強中です。子どもに対する日本語支援とは何か、大切な事は、優先すべき事は、模索しながらメンバーと共に意見交換し、シミュレーション授業などを行っています。子どもの日本語支援に経験の深い方達との勉強会にも意欲的に参加しています。何より子どもたちが日本語の習得を通して学校での学習活動に参加するための力をつけ、夢のある未来を持つ様にサポートしていきたいです。

# 立志式で講演「10代の無限の可能性」

国際交流員 ダニエル・ヘリオット

## 失敗を恐れなくて

2月7日（金）、笠間中学校の立志式において、ダニエル・ヘリオット国際交流員（28歳）が中学2年生を前に、「10代の無限の可能性」として記念講演を行いました。

会場となった体育館では、立志式を迎えた105名の生徒が出席し、スライドを用いて、イギリスの紹介や外国人から見た日本人のあるある話をユーモアたっぷりに紹介するとともに、自らの日本語を勉強したきっかけや習得までの努力、また、3年間、イギリス軍隊に入隊していた時の経験を写真で紹介しました。

講演のなかで、ダニエルは、自らの性格を困難にチャレンジし、成し遂げていくことに喜びを感じるタイプであると分析し、それには努力が必要であること、また、「失敗は無駄ではない、次へのステップアップにつながるもの、チャレンジを恐れなくて」と訴えました。さらに、「生ぬるい環境に身を置かないで、世界に飛び出せば、全く別の価値観を見いだせる」と語り、中学生の皆さんは熱心に聴き入っていました。



流暢な日本語でメッセージを送るダニエル国際交流員



## ◎市民や市内の各種団体が取り組んでいる事業に国際交流員をご活用ください◎

国際交流員（CIR）は、国のJETプログラムにより配置された日本の文化・言語に長けた優秀な外国人青年です。住民とふれあう中で、市民の国際交流や地域の国際化をサポートします。

【申し込み】国際交流室（TEL 274-9520）

※これまでの派遣先：公民館、図書館、児童館、こども食堂、老人サロン、白山警察署、ロータリークラブ等多数。

## 白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00  
 休館日 月曜日（月曜日が祝日も休館）  
 場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任文化会館ピーノ2階）  
 TEL/FAX 076-274-3371  
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp  
 HP <http://www.asagaotv.ne.jp/~misalon/index.html>



Facebookで、サロンの様子をアップしています！「白山市国際交流サロンHIA」で開いてね。

### 日本語部会

#### ベトナム研修報告会

1月29日(水)

昨年までサロンで日本語サポーターとして活動され、現在はベトナムで日本語教師として活躍されている竹本裕・裕美夫妻を訪ねて、1月5日～9日の日程で、日本語部会長、日本語サポーターの5名でベトナム・ホーチミン市へ視察研修に行ってきました。

竹本夫妻は4年間、サロンで主にベトナム人実習生の日本語サポートをしてくださり、学習者をご自身の子どもたちのように思い、熱の入った日本語指導を実践されてきました。現在はベトナムの日本語学校「Sハイ・カイゼン・吉田スクール」に在籍し、実習生として来日を希望するベトナムの若者に日本語を教えています。

帰国後、同サロンで開かれた報告会では、ベトナムを訪れた参加者の皆さんは、スライドで現地の様子を紹介しながら、それぞれが感想を発表しあいました。皆さんは、「ベトナムの若者たちは、日本の技術や勤勉さを学ぶという強い理念のもとに、一生懸命、日本語習得に頑張っていた。その姿に心打たれ、私たちも頑張ろうと思った。」と語っていました。



▲現地の日本語学校にて

#### 防災レクリエーション

11月10日(日)

白山野々市広域消防本部において、市内在住の外国人の方々へ防災に関する知識を提供し、意識の高揚のため簡単な伝言ゲームなどを用いた防災レクリエーションを実施しました。

消防署員の皆さんの協力を得て、即席担架の作り方や運び方を習ったほか、防災士の皆さんからは、防災食の作り方も学びました。

さらに、消防本部指令室では、9月1日から導入されたばかりの119番多言語通報サービスの実践も行われインドネシア語、中国語での緊急通報を体験し、外国人の方も安心して通報できることがわかりました。



▲即席担架の運搬練習をする参加者

### 共生交流部会

#### バス研修ツアー

10月6日(日)

2年に1度実施しているバスツアー、今年は、外国人に人気の世界遺産・白川郷と高山へ日帰りで行って来ました。ベトナム、中国、韓国出身の外国人と日本人部会員の計50名が参加しました。参加者は、日本の原風景や古い町並みを背景に写真撮影を楽しんだほか、国指定史跡・高山陣屋を見学しました。外国人の皆さんからは、「日本人サポーターさんが説明してくれて良かった。」「普段自分たちでは来ることのできない場所を訪問し、思い出ができた。」との感想が聞かれ、有意義なツアーとなりました。



▲全員で集合写真

### 国際理解部会

#### ハロウィンデー

10月27日(日)

松任児童館・松任図書館・国際交流サロン三館合同事業 ハロウィンデーを開催しました。今年も約200名の親子が、魔女や海賊、ドラキュラなど思い思いのコスチュームを着て参加しました。当日はあいにくの雨でしたが、パレード前にちょうど日が差し、図書館から松任駅前を通り、文化会館をゴールにした仮装パレードを行いました。

パレード後は、ALTの皆さんによる、トイレットペーパーを使ったミイラゲームや、ハロウィンをテーマとしたクラフト体験を行い、サロンの中は、たくさんの人で賑わいました。



▲ALTとクラフトづくりを楽しむ子どもたち

#### 友好都市中国深陽市へのマスクご寄附お礼

新型コロナウイルス肺炎の拡大が深刻となっている中国の友好都市深陽市民のため、マスクのご提供を、Eメール会員を中心にサロンで呼びかけたところ、約1000枚のご寄附が集まりました。皆様の善意のマスクは、2月18日、市から深陽市政府へ郵送しましたことをご報告いたします。ご協力有難うございました。

# 国際交流の集い

12月8日(日)

年末の恒例行事「国際交流の集い」を開催し、市内外の外国人や協会員ら約150名が参加しました。今回初めて市内の外国料理店や協会員による屋台ブースを設け、来場者はマレーシア料理や中華料理など各国の味を楽しみました。また、ステージでは2名のベトナム人技能実習生によるスピーチ発表があり、サロンで何度も練習したという日本語と日本への感謝の言葉に、会場から盛大な拍手が送られました。

★会場で発表された技能実習生のトゥアンさんのスピーチを紹介します★

## 「私のジャパニーズライフ」 ヴォー・ドック・トゥアン

私は日本に来て、最初はずっと家でゲームをしたりベトナムの友達に電話したり、そんな生活を送っていました。その生活を変えたのは「日本語」でした。日本語を話せるようになると日本に対する興味もわき、日本人と話すことは怖くなくなり、生活が面白くなりました。日本人の友達もできて、一緒に行動できるようになり、ますます楽しくなってきました。国の言語や文化によって違いがありますが、日本のことに興味をもち努力すればきっと生活が楽しくなり、良い経験を得るはずだと思います。会社で、サロンで、大切な友人ができました。その人たちに心から感謝いたします。残り少ない時間に、もっと日本を楽しみ、帰国したら自慢しながら言いたいです。「私のジャパニーズライフは楽しかった」と！（原文のまま）



▲スピーチをするトゥアンさん

## サロントピックス

### サロンで初めてのフリーマーケット開催

2月9日(日)

協会員や外国人の方々が、着物や生活雑貨などを持ち寄り、販売するフリーマーケットを、サロンで初めて開催しました。外国人、日本人合わせて約60名の方が来場し、会場に並んだ食器、古着、家電、外国雑貨などを、宝探しのように欲しいものを見つけて購入していました。会員の皆さんから無料の提供品も多かったことから、売上金は、16,532円にのぼり、一部は社会福祉協議会に寄付し、残りは協会活動費に充てられます。中には見たことのない外国雑貨もあり、その場にいた外国の方たちに「これなんて書いてある?」、「どうやって使うの?」などと聞いたりし、思いがけない異文化交流の場にもなりました。来年度もぜひ開催を!との声が多くあがっています。

## 友だちの輪 (外国人市民を紹介するコーナーです)

### グエン ティ タン チュックさん (ベトナム出身)

私は日本に来て6ヶ月のベトナム人です。日本人の夫と一緒に白山市に住んでいます。日本に来た初めの頃は、文化や言葉の違いに戸惑い、なぜ私は、ここに来たのかと自分に尋ねました。ベトナムでは良い仕事をして、たくさんの友人と家族がいました。でも私は夫を愛しているから日本にきました。夫と夫のお母さんは私の生活のいろんなことを助けてくれます。私はたくさんの親切な人に会いました。毎週火曜日と土曜日にサロンで日本語を勉強しています。先生は日本語だけでなく、たくさんのお話を教えてくれます。今、私は白山市に住んでいるのが大好きです。



▲日本の家族と一緒に笑顔で写るチュックさん(右)

## 外国の文化紹介で外国人サポーター大活躍!!

白山市国際交流協会では、「外国文化サポーター」として、外国籍の住民の方をサポーターとして登録し、市内団体が行う異文化理解や国際理解教室で講師を務めるサポーターを派遣しています。協会では、このような機会を通して、住民の国際理解を深めるだけでなく、日本人と外国人の交流の場を提供し、外国人住民の地域参画を推進しています。サポーター派遣のお問い合わせ・ご相談は、国際交流サロンまで、お気軽にどうぞ。



▲蝶屋児童館「世界の皆さんこんにちは」  
11月13日(水)ベトナム・フィリピン・中国出身のサポーター4名派遣、参加児童16名



▲明光小学校ピノキオクラブ「餃子作り」  
12月27日(金)中国出身サポーター3名派遣、参加児童30名

# H.I.A. だより

## 豪州ペンリス市親善友好都市30周年友好訪問団受入 10月6日(日)～8日(火)

本市とペンリス市とは、藤枝市とのつながりで平成元年(1989年)に親善友好都市を提携してから、記念すべき30周年を迎えました。

そこで昨秋、ペンリス市長やジェネラルマネージャーを初めとする7名の訪問団が来市し、ペンリス市職員による市政に関するプレゼンテーション及び記念式典を開催しました。記念式典では4名の方に市から「白山市国際友好表彰」を贈呈しました。



▲市長表敬訪問



▲金城大学幼児教育学科の授業を見学



▲ペンリス市のプレゼン「明日への最先端」



▲歓迎夕食会のフィナーレ



### 白山市国際友好表彰

#### ◆表彰された皆さん(写真右から)

ロス・ファウラー市長、ペンリス市国際友好委員会会長ジャッキー・グリーンノーさん(写真は代理で副会長のケリー・ゲインさん)、同委員会理事ウオード智子さん、藤枝市国際友好協会会長後藤彰さん。受賞者の皆さんいずれも、30年の長きに亘り、両市の友好推進に多大なご貢献をいただいた方々です。

## 米国コロンビア市学術訪問団受入 10月21日(月)～25日(金)

米国コロンビア市の訪問団が10月21日(月)～25日(金)の4泊5日の日程で白山市を訪れました。団員は議会、行政、教育、経済界などの14名で構成され、一行は明光小学校で授業を見学したほか、金沢国際高专白山麓キャンパスや浅野太鼓楽器店などを視察しました。

歓迎夕食会の席上、両市の友好交流にご尽力いただいたマッカラム元市長とスティープルマン教育長に、市から「白山市国際友好表彰」を贈呈しました。



▲コロンビア市議会のマシュー・ピッツ議員からの記念品贈呈



▲浅野太鼓楽器店にて、迫力のある演奏に聞き入る団員たち

### 白山市国際友好表彰

#### ◆メアリー・アン・マッカラム元コロンビア市長

交流初期の市長として、両市の友好関係の礎を築き、長きにわたりご貢献されました。

#### ◆ピーター・スティープルマン教育長

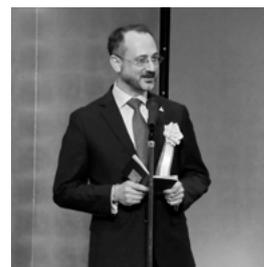
中学生ホームステイ交流が休止して以降、10年ぶりに公式訪問団を率いるなど、両市の交流再開に顕著なご功績がありました。



▲白峰地域を視察。堅豆腐、かつちりなどの郷土料理を満喫



▲授業見学と校長・教頭先生との教育に関する意見交換(明光小学校)



▲白山市国際友好表彰式でスピーチをするマッカラム氏(左)とスティープルマン氏(右)

# H.I.A. だより

## 今年も海外からグリーティングカードのお便り

親善友好都市との交流の一環として、市内小学生と海外の5つの親善友好都市の子どもたちがグリーティングカードを交換しました。今年は、広陽小学校、東明小学校の児童が参加し、英語のメッセージとともに折り紙やシールで装飾したカードを作成し、各都市に送付しました。今年1月に一人ひとりに返事が届き、カードを受け取った児童たちは、英文の意味を国際交流員に聞いたり、お互いにカードを見せ合ったりして、遠い国の友達との交流を楽しみました。



▲ 溧陽市児童が作成したカード

◀ 国際交流員に英語の意味を聞く児童たち

## 美川ライオンズクラブ交換学生が市長表敬

12月23日(月)

美川ライオンズクラブの冬期来日 YCE 青少年受入事業として、マレーシア出身のカー・クワンさん(18歳)が12月20日(金)～25日(水)の6日間、市内でホームステイしながら、白山市を楽しみました。

ホストファミリーと訪れた市長表敬では、「たくさんの自然や文化に触れたい。人の温かさが素晴らしい。」と笑顔で語っていました。



◀ 滞在中の抱負を語るカー・クワンさん



## ホームステイ交流OBコーナー

現在白山市では親善友好都市3都市と中学生・高校生を対象にホームステイ交流を行っています。当コーナーでは、ホームステイ交流がその後の人生にどのような影響を与えたか、派遣生OBの声をご紹介します。

### 橋詰 明璃さん(東二番町)

(平成26年度ボストン町・平成28年度溧陽市ホームステイ交流派遣団員、金沢大学総合教育部文系1年生)

イギリスのホームステイでは、価値観や文化の違いを肌で感じ、コミュニケーションや語学力の大切さを学びました。また、海外へ目を向けるきっかけとなりました。中国のホームステイでは、日本で聞く中国についての評判と実際の中国の姿は異なる部分もあると知り、直接現地に行かないと学べないことがたくさんあると気づきました。そして現在は大学の国際寮に入っており、日々留学生と異国の文化を共有しています。入寮したことで、お互いの国についてよく知ることができ、違うバックグラウンドを持った人々と意見を交換し、話し合う場がとても増えました。違う国の文化や他国から見た日本の評価などを聞くことで、日本の良さにも気づかされ、その反面日本にはない他国の良さも知りました。今、こうして国際交流できているのもホームステイに行き、視野が広がったからなのでさらにこの経験を生かしていきたいと思っています。

大学のルームメイト  
ロシア人留学生の  
Valentinaさん(左)と  
橋詰さん(右) ▶



### 板谷 明菜さん(河内町)

(平成22年度ボストン町ホームステイ交流派遣団員、コマツ栗津工場勤務)

中学生のときに市が主催する姉妹都市(イギリス・ボストン町)への派遣事業に参加し、初めて海外を訪れました。それが国際交流に興味を持ち始めたきっかけです。大学入学後は外国人の友人を増やすことから国際交流を積み重ね、大学2年次に念願の語学留学を果たしました。留学先のオーストラリアでは大学で様々な国からの留学生と切磋琢磨しながら課題に取り組み、時には海や街で思いっきり遊んだことは一生の思い出です。大学3年次には研修でカンボジアに行き、村の教育事情や地雷処理現場の実態を自分の目で確かめてきました。

現在は建設機械を作る会社で広報として働いており、海外からいらっしゃるお客様に工場見学の案内をすることも多々あります。学生時代に培った英語力を活かし、様々な国の方々と交流できる楽しさを日々感じています。

カンボジア研修で  
現地子どもたちと  
触れ合う板谷さん  
(左端) ▶



◎派遣生OBの皆さんから、このコーナーへの投稿をお待ちしています！  
ご連絡は市役所国際交流室 toshikouryu@city.hakusan.lg.jp までお願いします。

# H.I.A.からのお知らせ

令和元年度会費を納めていただいた特別会員（企業・団体）の皆さんです。厚くお礼を申し上げます。（敬称略、50音順）

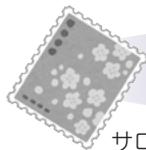
No.	名 称
1	(株)あさがおテレビ
2	(株)浅野太鼓楽器店
3	石川情報交流事業協同組合
4	医療法人社団 白山会
5	(有)印刷のシコー
6	(株)EIZO
7	エス・ディ・エス(株)
8	(株)エヌティエル
9	(株)加藤建設
10	学校法人 金城大学短期大学部
11	協和道路(株)
12	グランドホテル白山
13	弁護士法人 兼六法律事務所 白山事務所
14	(株)三光製作所

No.	名 称
15	(株)車多酒造
16	(株)新日本ツーリストつるぎ旅行センター
17	(株)スノーエリアマネジメント白山
18	千代野建設(株)
19	(有)ツクダ自動車
20	鶴来商工会
21	鶴来ライオンズクラブ
22	手取川七ヶ用水土地改良区
23	(株)天龍工業
24	トウエイ工業(株)
25	(株)トスマク・アイ
26	中村留精密工業(株)
27	(株)永瀬商事
28	ニッコー(株)

No.	名 称
29	(株)西川電機工業所
30	(株)日本旅行 金沢支店
31	能登印刷(株)
32	白山石川ロータリークラブ
33	白山商工会
34	白山商工会議所
35	白山青年会議所
36	(株)羽田合金
37	白山ロータリークラブ
38	白山市北消防団
39	白山市体育協会
40	白山市町会連合会
41	白山市日本中国友好協会
42	白山市文化協会

No.	名 称
43	白山市ロシア協会
44	(有)フジタ印刷
45	(株)北國銀行松任支店
46	前田印刷(株)
47	松任市農業協同組合
48	松任土地改良区
49	(株)マップ
50	松任ライオンズクラブ
51	美川商工会
52	美川ライオンズクラブ
53	(株)メープルハウス

以上53社(団体)



## サロンでは外国コイン・古切手を集めています！

サロンでは、外国コイン及び古切手の寄付を受付けています。先日のフリーマーケットでは、約3kgもの外国コインが集まり、「ユニセフ外国コイン募金」へ寄附いたしました。

ご自宅に眠っているコインや切手がありましたら、ぜひサロンにお持ちください。



## 国際交流サポーターになって、自分の特技を活かしませんか？



市国際交流協会では、通訳翻訳や日本語指導、外国文化紹介など、市民の方々の特技や専門的な能力を活かす「国際交流サポーター」の登録・派遣を行っています。学校や病院、団体、サークル等で、下記サポーターの派遣を希望する場合は、市国際交流サロンまでご相談ください。

### \*国際交流サポーターの種類\*

- ①通訳翻訳サポーター ②日本語サポーター
- ③日本文化サポーター ④外国文化サポーター

### 活躍例：日本文化サポーターさん、着物着付けで活躍中！

着物を体験したいという外国人に対して、日本文化サポーターさんが着付けを行っています。日本語学習者や母国から遊びに来た家族など、利用者は様々。着付け後はたくさん記念撮影をし、とても喜ばれています。着付けのお手伝いができる方、ぜひ日本文化体験のサポートをしてみませんか？

## 【予告】ホストファミリーを募集します！

### 米国コロンビア市高校生サマープログラム受入事業

コロンビア市の高校生が6月に来市し、金沢国際高専白山麓キャンパスや白山ろく地域において研修プログラムを行います。滞在中に高校生を受け入れてくださるホスト家庭を募集します。

期間：6月13日(土)～17日(水) 朝 4泊5日  
(白山市滞在期間：6月7日～6月17日)

人数：高校生6名(女子4名、男子2名)

### JALスカラシッププログラム受入事業

アジア・オセアニアの大学生が、研修や文化交流のため来市します。ホームビジットとして日中に大学生を受け入れてくださるホスト家庭を募集します。

日時：6月28日(日)

人数：大学生28名程度

※同事業については、現段階での予定であることを申し添えます。

## 募集の申込み・問い合わせは、ともに

国際交流サロンまたは国際交流室まで  
TEL 274-3371 TEL 274-9520

## E-mail登録にご協力をお願いします

協会イベントのご案内や、サロンからのお知らせや募集案内が随時、届きます。

Email登録先：misalon@asagaotv.ne.jpへ、ご住所、お名前の明記とE-mail登録希望と書いて、送信ください。

## 部会員随時募集中!!

協会のイベントや行事に参加するだけでは、ちょっと物足りないなあと思われる方、国際交流サロンのスタッフといっしょに事業の企画や運営に携わってみませんか。

関心のある方は、サロンまでお問い合わせください。

### ★5つの部が活動しています★

- ①日本語部会 ②共生交流部会 ③通訳翻訳部会
- ④国際理解部会 ⑤広報部会

## 編集後記

白山市国際交流協会に新会員の方がたくさん入って下さり、ありがとうございます。日本語の勉強の登録に来る外国の方も増え、日本語の上手な方が、積極的にサロンのイベントのサポートをしてくれたり、自らこんなことをしたいと新企画を持ってきてくださったり、日本人の方でも新しく生け花教室をしてくださったりと交流が活発になってなによりです。お気軽にみなさんもサロンに遊びに来てくださいね。(サロン)

発行 ■白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)  
事務局 / 白山市役所観光文化スポーツ部国際交流室  
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546  
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp  
白山市国際交流サロン  
TEL/FAX 076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp